



令和2年度一般会計予算案の概要

～ 市長選挙を控えた『骨格型』予算 ～



2020 丹後ちりめん 創業300年



旬の京丹後



海の京都



山陰海岸ジオパーク



日本遺産

京丹後市



令和2年度予算編成

■ 骨格型予算の編成

令和2年4月に市長選挙が予定されているため、経常的・継続的事業を中心とした『骨格型』の予算編成
※6月定例会の補正予算で政策的な事業などを肉付け計上（予定）

■ 国の補正予算を活用した13か月予算

3月補正（7号）で国の第1次補正予算を活用した事業を計上。令和2年度予算と合わせて13か月予算を編成

■ 第2次京丹後市総合計画・基本計画に沿った施策の着実な推進

本市最大の課題である人口減少を緩やかにするため、地域づくりや地域・産業の担い手育成などのほか、市民の安全・安心の確保や山陰近畿自動車道の早期実現に向けた取組などについても、引き続き途切れることなく実施



一般会計の予算規模(13か月予算)

令和2年度予算案(骨格型)

323億1,900万円

R元 : 338億1,000万円
(対前年比 Δ 14億9,100万円、 Δ 4.4%)

H30 : 336億7,000万円
(対前々年比 Δ 13億5,100万円、 Δ 4.0%)

令和元年度3月補正予算案(7号)

9億円

国の補正予算を活用

■国の補正予算関係事業

- | | |
|---------------------|-----------|
| ・学校情報通信ネットワーク環境整備事業 | 5億 650万円 |
| ・久美浜湾カーセンター(仮称)整備事業 | 1億6,495万円 |
| ・社会資本整備総合交付金事業 | 1億1,200万円 |
| ・内水対策事業 | 5,900万円 |
| ・京都丹後鉄道利用促進対策事業 | 4,866万円 |
| ・農業競争力強化基盤整備事業 | 875万円 |

合計(13か月予算)

332億1,900万円

(R元比 : Δ 5億9,100万円、 Δ 1.7%)
(H30比 : Δ 4億5,100万円、 Δ 1.3%)



〈参考〉全会計予算規模

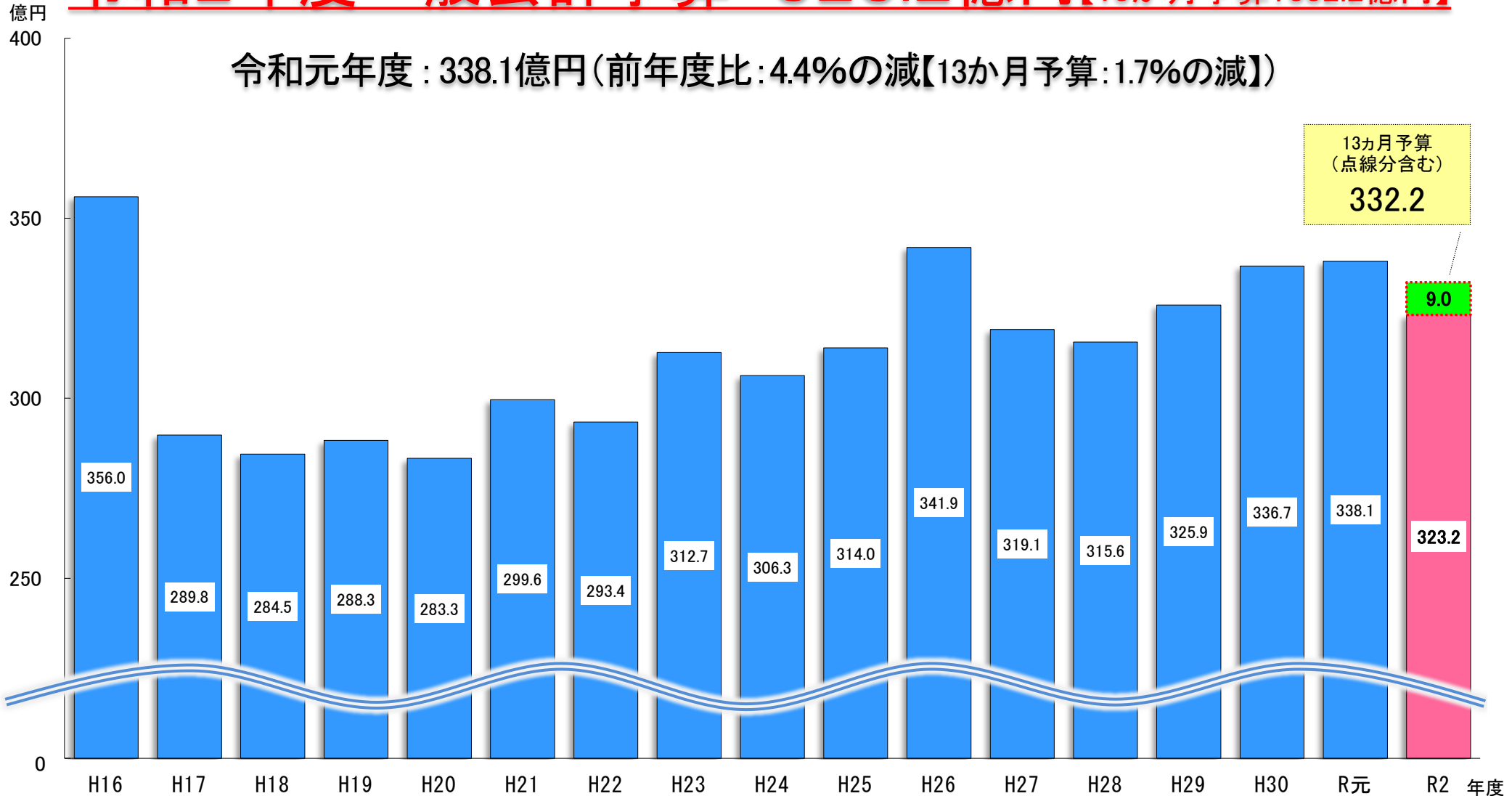
区 分	令和2年度	令和元年度	増 減 額	増減率
一般会計	323億1,900万円	338億1,000万円	▲14億9,100万円	▲4.4%
特別会計	147億4,350万円 (10会計)	185億5,780万円 (13会計)	▲38億1,430万円	▲20.6%
企業会計	171億 868万円 (3会計)	115億3,091万円 (2会計)	55億7,777万円	48.4%
合 計	641億7,118万円	638億9,871万円	2億7,247万円	0.4%

※令和2年度からは集落排水事業、公共下水道事業、浄化槽整備事業の3特別会計を統合し、下水道事業会計（企業会計）へ移行



一般会計予算の推移

令和2年度一般会計予算 323.2億円【13か月予算:332.2億円】



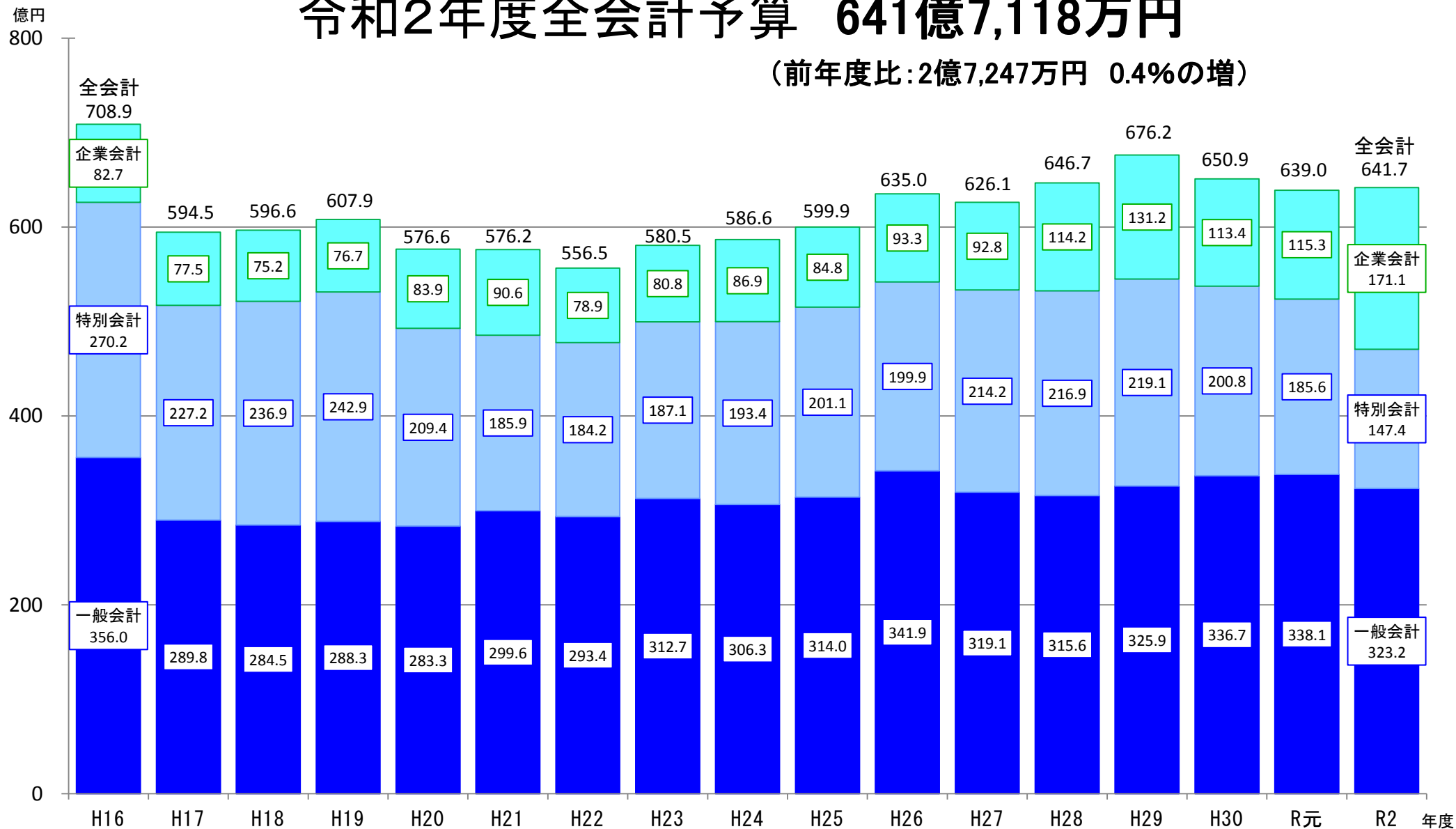
※H16年度は合併による旧町打切分を含む ※H20、H24、H28、R2年度は骨格型予算



〈参考〉全会計予算の推移

令和2年度全会計予算 641億7,118万円

(前年度比:2億7,247万円 0.4%の増)





第2次総合計画・基本計画に掲げる5つの柱

市民と地域がキラリと『光り輝くまち』



1

地域づくり

地域が元気に「輝く」
市民主役のまち

2

ひとづくり

若者が希望に「輝く」
「おもろい」まち

3

ものづくり

「輝く」匠の技と資源
が集積するまち

4

魅力づくり

「輝く」豊富な「食材」を
活かしたまち

5

基盤づくり

「輝く」未来に、
社会の基盤を築くまち

1 【地域づくり】”地域が元気に“輝く”、市民主役のまち

～“地域力”を高め、市民が主役のまちづくりを推進～

《参考》52億3,596万円

柱①に記載した取組の合計額

“次代のまちづくり”に向けた検討等

新 京丹後市総合計画・総合戦略の見直し【206万円】

「第2次京丹後市総合計画の基本計画」及び「京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直しするため審議会を開催。また、若者や女性の意見を聴取するためのワークショップを開催

□ 近未来技術の普及促進【20万円】

市内産業等にAIやIoTなどの活用と普及啓発等を行うため、R元年8月に発足した京丹後市近未来技術普及促進協議会の活動を支援
※協議会構成団体：市、市内企業、市内経済団体等

□ 都市計画区域用途地域の指定業務を実施【200万円】

京丹後市都市計画マスタープランに基づき、用途地域の都市計画素案を作成

小規模多機能な自治の仕組みづくりの推進

拡 「新たな地域コミュニティ」組織づくり【98万円】

地区公民館活動も一体化した「新たな地域コミュニティ」組織づくりに向け、地区内での話し合いを進めていくためのワークショップの開催等を支援

□ 地域づくり支援員の配置【1,737万円】

各市民局に1名配置（全6名）

□ 小規模多機能自治推進補助金【60万円】

小規模多機能自治に向けた調査研究、計画策定等を支援

□ 農村型小規模多機能自治推進事業補助金【360万円】

- ・大宮南地区（ゲストハウス整備等）
- ・豊栄地区（アクションプラン策定等）
- ・弥栄町域（地域ビジョン、モデル地区（吉野校区）アクションプランの検討等）

地域の元気創出～地域づくりを支援～

□ 「高校生と地域の架け橋」役を配置【432万円】

地元定着率の向上に向け、高校生と行政や企業、地域の団体や人をつなぎ、高校生の意識の変化や気づきを促すコーディネーター（地域おこし協力隊）1名を峰山高校を主な活動場所として配置

□ 地域おこし協力隊活動経費【2,525万円】

各町域に1名配置（全6名）

□ 地域の活性化対策を支援【600万円】

農林水産省の「農山漁村振興交付金」を活用し、地域活性化に取り組む宇川スマート定住促進協議会へ事業資金を一時的に貸し付け、地域づくりと活性化を側面から支援

□ 自治組織活動を支援【1億2,958万円】

- ・地域振興交付金<1億2,678万円>
- ・区長連絡協議会運営事業交付金<280万円>

□ コミュニティ活動を支援【6,342万円】

- ・地域集会施設整備費補助金<863万円>
- ・再編交付金事業基金を活用した集会施設等整備支援<3,429万円>
丹後町尾和区集会施設整備事業補助金
- ・集会施設等簡易修繕補助金<1,500万円>
- ・市民力活性化支援事業補助金<150万円>
- ・コミュニティビジネス応援補助金<200万円>
- ・村おこし・地域づくり事業補助金<200万円>

□ 多文化共生社会の実現【437万円】

- 新 ・外国人相談支援（雇用・医療・子育て等の情報提供・相談）<76万円>
- ・外国人支援サポーターを養成<12万円>
- ・国際交流協会の活動を支援<349万円>

□ 夢まち創り大学による域学連携の推進【1,239万円】

地域と大学が連携・協働し地域課題を解決、地域の活性化を図るための活動を支援（参加：16大学）

1 【地域づくり】”地域が元気に“輝く”、市民主役のまち ～“地域力”を高め、市民が主役のまちづくりを推進～

医療提供体制の充実

□医療体制の支援【12億3,160万円】

- ・地域医療体制整備を支援<242万円>
- ・公的病院等の運営を支援<6,005万円>
- ・休日応急診療体制の確保<387万円>
- ・市立病院、市立診療所の運営支援<11億6,526万円>

□医療体制の整備【2,040万円】

- ・医療確保奨学金貸与事業の実施
※看護師、助産師を確保するため、病院事業会計では、看護師等修学資金貸付金を計上（病院事業会計予算1,440万円）

新 (仮称)地域医療の在り方検討委員会を開催【97万円】

病院や診療所をはじめとした地域医療の在り方について、調査、研究、検討を行う

□高齢者への医療支援【10億9,395万円】

- ・老人医療給付<5,939万円>
- ・後期高齢者医療事業特別会計繰出金<10億3,456万円>
※府後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金を含む

健康と福祉のまちづくり

新 健康と福祉のまちづくり審議会を開催【50万円】

「第8期高齢者保健福祉計画（R3～5年度）」及び「第6期障害福祉計画（R3～5年度）」の策定に向け、調査研究、審議を行う。

くらしとごとに関する相談支援

□寄り添い支援総合サポートセンターによる支援【3,631万円】

- ・自立相談支援<1,181万円>
- ・離職者等支援<82万円>
- ・就労準備支援<2,079万円>
- ・子どもの学習支援<289万円>

福祉事業の展開～健康長寿地域の実現～

□食育の推進【67万円】

認定こども園・保育所での食育指導、子どもクッキング教室、お魚料理教室、食文化伝承推進事業などを実施

□妊産婦の健康づくりを支援【2,942万円】

- ・産婦健康診査（産後2週目と1か月目の2回）<228万円>
- ・妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査<2,714万円>

新 子どもの予防接種にロタウィルスワクチンを追加【320万円】

ロタウィルス感染症を予防するワクチン接種をR2年10月から定期予防接種に追加（R2年8月生まれの乳児から対象）

□障害者福祉の推進【18億3,051万円】

- ・障害福祉サービスの給付<16億3,104万円>
- ・自立支援医療給付<2,248万円>
- ・補装具給付<1,123万円>
- ・地域生活支援<1億5,246万円>
- ・就労支援<634万円>
- ・心のバリアフリー促進<696万円>
要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成講座の実施など

□障害者施設製品の常設販売店「クリエイトショップくりくり」の運営支援【600万円】

新 高齢者のフレイル予防【284万円】

75歳以上の方のフレイル予防を実施（府後期高齢者医療広域連合の委託事業）
※フレイルとは、加齢に伴い心身の活力が低下した状態のこと

新 権利擁護支援体制の整備【44万円】

高齢者、障害者等が成年後見制度を円滑に利用できるような体制づくりを行う。権利擁護支援体制在り方検討委員会の開催、後見受任体制づくりのための学習会を開催

□生活保護費の給付【7億701万円】

2 【ひとづくり】若者が希望に“輝く”、「おもろい」まち

～ “若者が希望に輝く”まちづくりを推進～

《参考》50億 339万円

柱②に記載した取組の合計額

◆ 峰山途中ヶ丘公園“第3種公認陸上競技場”

今秋完成！

【4億1,017万円】

日本陸上競技連盟第3種公認陸上競技場として整備
完成記念イベントをR2.10月開催予定
※総事業費：約6.1億円（附属施設、備品購入などを含む）
※施設名称を「京丹後市峰山途中ヶ丘グラウンド」から
「京丹後はごろも陸上競技場」に変更予定



移住・Uターンを支援

□ 市移住支援センターの運営【752万円】

移住相談対応窓口の設置、情報収集・発信等

□ 移住促進・空家改修等を支援【1,676万円】

- ・お試し移住体験住宅の運営<126万円>
- ・移住促進・空家改修支援事業費補助金<1,460万円>
- ・移住奨励金<90万円>

□ 移住者の就労等を支援【100万円】

Uターンによる起業・就業者を創出。最大100万円を支援
※東京23区又は東京圏からのU・ターン者を対象

□ 地域少子化対策・婚活支援【81万円】

婚活支援センターの運営支援、婚活イベントの開催を支援

□ 高校生向け産業・企業セミナーを開催【38万円】

管内高校生の85%が高校卒業後、市外へ進学。市内在学時に市内企業の魅力をPRし、大学等卒業後のUターンを促す

□ ふるさとバスを運行【79万円】

無料バス（京都⇄京丹後市）を運行

□ 保護者・教員向け企業見学ツアー、説明会を開催【20万円】

□ 夢の実現を後押し【500万円】

韓哲・まちづくり夢基金を活用し、教育、文化、芸術又はスポーツの振興など、企画公募型の「韓哲・まちづくり夢基金事業補助金」を交付

多様な学びの場とスポーツ環境を整備

☑ “海の見える図書室”（丹後図書室）を整備【7,362万円】

丹後図書室を丹後庁舎3階へ移転。R2年11月オープン予定

☑ 丹後地域公民館を耐震等改修【3億5,858万円】

耐震補強のほか、エレベーターやエアコン等も整備。3階は、放課後児童クラブとしても活用予定

□ 京丹後チャレンジデー2020を開催【15万円】

5月27日（水）に実施予定

□ 誰もが楽しめるスポーツの普及【367万円】

スポーツ推進委員によるニュースポーツ・障害者スポーツの普及活動など

□ スポーツ団体の活動を支援【1,981万円】

- ・体育協会の活動を支援<1,573万円>
- ・青少年スポーツ協会の活動を支援<378万円>
- ・子どものスポーツ障害予防等事業を支援<30万円>

□ 地区公民館活動を支援【3,575万円】

旧町域毎に組織する公民館連絡協議会に活動交付金を交付

□ 地域子ども教室の活動を支援【78万円】

地域全体で子どもを守り育て活動を支援（6団体）

□ 高齢者大学を開催【285万円】

町域毎に「学園」を設け、各地域公民館が実施。一般講座全46講座、教養講座全55講座を開設

□ 多様な学びの場である社会教育施設の管理運営【9,998万円】

- ・図書館（2館4室）の管理運営<6,369万円>
- ・峰山いさなご施設管理運営<958万円>
- ・マスターズビレッジ管理運営<1,575万円>
- ・琴引浜鳴き砂文化館の指定管理者による管理運営<849万円>
- ・たちばな会館管理運営<121万円>
- ・網野教育会館管理運営<126万円>

2 【ひとづくり】若者が希望に“輝く”、「おもろい」まち ～ “若者が希望に輝く”まちづくりを推進～

子育て応援～子育て環境の整備～

拡 歯の健康「フッ化物洗口」を全小学校で実施【91万円】

子どもの口腔衛生の確保とう歯予防のため、これまで認定こども園と保育所の4・5歳児と市内小学校4校で実施していたフッ化物洗口を全小学校で実施

□ 子育て支援用ごみ袋の無料配布【43万円】

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりを推進

対象：2歳までの乳幼児をもつ世帯（出生時または転入時のみ配布）

概要：可燃用指定ごみ袋（ミニ：20枚）を無料配付
乳幼児1人につき、最大200枚（2年間分）

□ 子育て世代包括支援センター“はぐはぐ”の運営【83万円】

妊娠、出産、子育てに関する「困った」「不安」「しんどい」などの悩みの“ワンストップ相談窓口”

産前産後サポート事業、産後ケア事業なども実施

□ 地域子育て支援センターの運営【2,045万円】

地域の子育て支援の拠点として、市内8か所で開設

□ 子育て交流会・子育て講座等の実施【186万円】

子育て講座、親子体操教室等を開催

□ ひとり親家庭の支援【275万円】

自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進費の給付など

□ 児童手当の支給【7億421万円】

□ 児童扶養手当の支給【1億9,588万円】

※児童扶養手当の支給回数の変更

現行：年5回（4・8・11・1・3月）⇒ 令和2年度以降：年6回（奇数月）

□ 放課後児童クラブの運営・管理【2億9,990万円】

- 市内10か所で開設・運営<1億8,645万円>
- 丹後放課後児童クラブの整備（丹後地域公民館内）<676万円>
- 網野南放課後児童クラブのエアコン更新<120万円>
- 新** 旧新山保育所（峰山放課後児童クラブ）の解体<9,180万円>
- 峰山放課後児童クラブの旧丹波小への移転経費<69万円>
- 送迎車両の新規購入（峰山）、更新（網野北、弥栄）<1,300万円>

□ 放課後子ども教室の運営【78万円】

市内2か所（網野北・網野南小の余裕教室を利用）で開設・運営

新 認定こども園、保育所での完全給食の実施【556万円】

市内の認定こども園、保育所において、4月から主食を提供
主食代は、子ども1人当たり400円/月を徴収

□ 認定こども園・保育所の運営・管理【9億8,566万円】

公立の認定こども園（6施設）、保育所（5施設）を運営、管理

□ 民間委託による保育サービスの充実【5億3,344万円】

休日保育、延長保育の充実など保育者の保育ニーズに対応

□ 民間保育所が行う一時預かり保育、延長保育等を支援

【2,904万円】

□ 子育て短期支援事業等の実施【967万円】

保護者が疾病等の理由で、養育することが困難な場合などに、児童を一時的に保護・看護し、保護者の子育てと就労を支援

新 たちばな保育所のトイレ洋式化【70万円】

これにより市内の公立保育所、認定こども園すべてに洋式トイレの設置完了

□ 子ども医療費の助成【1億7,648万円】

18歳年度末までの医療費の一部を助成

2 【ひとづくり】若者が希望に“輝く”、「おもろい」まち

～ “若者が希望に輝く”まちづくりを推進～

教育と学びのまちを実現～教育環境の整備～

□学校のトイレを洋式化【8,380万円】

網野南小、かぶと山小、久美浜小の3校の児童用トイレを洋式化(一部)

新 網野中学校下水道接続等【1,798万円】

新 コミュニティ・スクールの設置【ゼロ予算】

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、共同して子どもたちの成長を支えるため、これまで各学園で運営していた「学校地域連携推進協議会」を発展させ、「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」を各学園に設置

□教育支援センター“麦わら”の運営【1,058万円】

不登校またはその傾向にある児童・生徒をサポート(平日開設)

□子どもたちの国際化を支援【3,834万円】

- ・国際交流員(CIR)1名、外国語指導助手(ALT)6名配置<3,277万円>
- ・小中学生の異文化交流・国際交流講座を実施<9万円>
- ・中学生の海外派遣<548万円>

□小中一貫教育を推進【596万円】

町域毎の小・中学校(学園)が連動し、系統的な教育活動を実践

□小・中学校の学習活動を推進【6,346万円】

教師用教科書・指導書の購入、学習教材、校外学習活動など

拡 小・中学校にスクールサポーターを配置【9,737万円】

中学校の部活動の向上と教職員の負担軽減のため、部活動指導員を2名増員し、10名体制に拡充(前年比2名増)
※部活動指導員以外のスクールサポーターを配置
小学校:介護24名、中学校:介護4名、講師6名、心の教室相談員2名、事務1名

□地域コーディネーターを配置【354万円】

各中学校に1名配置、学校支援ボランティアの派遣など

□就学、修学を支援【5,058万円】

- ・小・中学校の就学を援助<3,802万円>
- ・大学等の修学支援、奨学金の給付・貸付<1,256万円>

□子どもの学習支援(再掲)【289万円】

くらしとしごと寄り添い支援総合サポートセンターによる支援

新 児童生徒「1人1台端末」に向け、学校情報通信ネットワーク環境を整備

3月補正

【5億650万円】

国のGIGAスクール構想に基づき、全ての児童生徒が効果的に教育を受けることができる環境を整備するため、市内全小中学校の高速通信ネットワーク環境整備に着手
※今後、順次タブレットパソコンを購入予定



文化・芸術のまちづくり

□文化団体等の活動を支援【3,245万円】

- ・丹後文化事業団運営費補助金<2,700万円>
- ・文化協会の活動を支援<350万円>
- ・丹後文化芸術祭の開催支援<130万円>
- ・文化のまちづくり事業を支援<5万円>
- ・小町ろまん全国短歌大会の開催支援<13万円>
- ・網野町ふれあいコンサートの開催支援<8万円>
- ・児童合唱団(3団体)の活動を支援<39万円>

□京都府アーティスト・イン・レジデンス事業【200万円】

公募で選定された若手アーティストが、地域住民と共同で作品を制作し展覧会を実施 ※H30～R2年度の3か年事業

□文化施設の環境整備【4,840万円】

丹後古代の里資料館の空調設備等更新

□文化財の保全を支援【200万円】

貴重な文化財を後世に残すため、修理や保全に補助金を交付

□網野銚子山古墳の整備【3,117万円】

国史跡網野銚子山古墳の活用に向け検討を進めるとともに、後円部周溝を中心とした環境整備を実施

3 【ものづくり】“輝く”、匠の技と資源が集積するまち ～地域産業等の振興を図り“経済の活性化”を促進～

《参考》11億9,389万円

柱③に記載した取組の合計額

◆丹後ちりめん創業300年！【330万円】

○府、2市2町、各種団体が連携し、織物産地の未来に向けた取組を実施

【主な事業（予定）】 <319万円>

- ・TANGO OPEN WEEK 2020(仮称)の開催
開催日：R2.10下旬の1週間
場 所：丹後地域内
内 容：丹後テキスタイル製品の展示販売
(デザイナーや学生等とのコラボ作品の展示など)
- ・首都圏におけるTANGO OPEN 製品等の発表
- ・TANGO OPEN CENTER(仮称)の整備に向けた試行事業
丹後地域内でTANGO OPEN商品等が購入できる場(センター)の整備に向けて、試行的にワンストップでの常設展示と商談の場を提供



新シルクサミットin京丹後の開催<11万円>

丹後ちりめん創業300年事業の一環として、京丹後市をメイン会場として第21回シルクサミットが開催される予定(R2年10月)

人材の確保・育成、就労の促進

□地域雇用促進協議会による人材確保・雇用促進【190万円】

- 【人材育成】・TANGO子ども未来プロジェクトを実施<44万円>
・織物産地未来プロジェクトを実施<9万円>
- 【雇用促進】・保護者・教員向け企業見学ツアーを開催(再掲)<20万円>
・高校生向け産業・企業セミナーを開催(再掲)<38万円>
・ふるさとバスを運行(再掲)<79万円>

【参考】地域雇用活性化推進事業(厚生労働省委託事業)

地域の特性を生かした「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るための創意工夫ある取組を実施する「地域雇用活性化推進事業」をR元年10月から受託(～R4年度)

R2年度予定額：3,360万円

合同企業面接会、企業向け採用強化セミナー、企業がITブック作成 など

□「北部産業活性化拠点・京丹後」の運営等を支援【690万円】

丹後・知恵のものづくりパークの運営を支援
また、同パークで実施する研修事業経費の一部を負担

産業の元気創出

□市内事業者の経営を支援【1億1,410万円】

- ・小規模事業経営を支援<6,650万円>
- ・織物指導等小規模生産基盤整備を支援<950万円>
- ・商工業経営安定利子補給金<650万円>
- ・信用保証料補助金<3,000万円>
- ・経営力向上企業支援利子補給金<50万円>
- ・中小企業者等災害復旧融資支援補助金<10万円>
- ・商店街環境整備(街路灯撤去)事業補助金<100万円>

□経営革新・販路開拓等で新事業・新産業を創出【9,055万円】

- ・創業等支援補助金<800万円>
- ・商工業支援補助金(ブランド戦略PRなど)<440万円>
- ・製造・加工業経営革新等推進事業補助金<1,500万円>
- ・新シルク産業創造事業の継続実施<2,109万円>
- ・機械金属業の販路開拓等を支援<530万円>
- ・丹後地域地場産業振興センターの運営等を支援<3,676万円>

□コワーキング(Co-working)スペースを開設【89万円】

丹後地域地場産業振興センター内のテレワークスペースを活用し、地元業者間や都市部企業との異業種交流を通じ、新たな観光産業やイノベーションを創出。運営・管理は、市観光公社に委託。

※「コワーキングスペース」とは、「共同で仕事をする場所」

□サテライトオフィスの設置を支援【98万円】

テレワークによる企業を誘致するため、サテライトオフィス開設を希望する企業を支援

□市内外企業等の立地を支援【5,044万円】

- ・企業立地助成金(対象指定事業所8社)<4,200万円>
- ・企業立地奨励金(対象指定事業所15社)<844万円>

□近未来技術の普及促進(再掲)【20万円】

市内産業等にAIやIoTなどの活用と普及啓発等を行うため、R元年8月に発足した京丹後市近未来技術普及促進協議会の活動を支援

※協議会構成団体：市、市内企業、市内経済団体等

3 【ものづくり】“輝く”、匠の技と資源が集積するまち

～地域産業等の振興を図り“経済の活性化”を促進～

農産物の生産振興、ブランド化

□市内農産物のブランド化を推進【558万円】

〔生産強化を支援〕

- ・経営規模拡大を支援
- ・共同利用機械等の導入を支援
- ・永年性作物等の導入を支援

〔流通販売を支援〕

- ・新たな農産物流へのチャレンジを支援
- ・国内外の販路開拓を支援
- ・第三者認証取得を支援

〔旬の食材のブランド化〕

- ・1次産品活用アドバイザーを起用

□営農活動を支援【8,880万円】

- ・環境保全型農業の取組を支援<1,112万円>
- ・中山間地域等における生産活動を支援<6,809万円>
- ・水田農業における経営所得安定化対策を推進<895万円>
- ・農業者経営復興特別支援資金等の助成<64万円>

□新規就農者・後継者等人材の確保・育成【5,370万円】

- ・新規就農者の経営安定等を支援<256万円>
- ・次世代を担う青年就農者を支援<4,500万円>
- ・農林水産業活性化事業（学舎事業）を実施<230万円>
- ・就農初期における機械、施設等整備を支援<384万円>

□農地の集積、集落営農支援【2,995万円】

- ・農地集積と集約化を推進<2,435万円>
- ・集落営農法人の経営力強化を支援<135万円>
- ・経営の多角化等に取り組む集落営農組織を支援<425万円>

新 生物多様性を育む農業推進計画を更新【16万円】

第3期計画（R3～R7年度）を策定し、生物多様性を育む農業を推進

農業用施設等の環境整備

□農業用機械・設備等の整備を支援【5,223万円】

- ・パイプハウス等整備事業補助金<3,026万円>
- ・「京の米」生産イノベーション事業補助金<2,197万円>

□農業関連施設の運営・環境整備【3,270万円】

- ・クラインガルテンの外壁塗装（5棟）<377万円>
- ・丹後王国「食のみやこ」の運営<2,893万円>

□農業用施設の整備【4億4,322万円】

- ・農業用水路管の移設（丹後町竹野）<3,250万円>
- ・共同活動による農業用施設の機能維持・長寿命化を支援<1億9,741万円>
- ・ため池の整備（峰山町菅）<1,200万円>
- ・府営ほ場整備（久美浜町女布）<1,432万円>
- ・府営ほ場整備（丹後町上宇川）<2,958万円>
- ・府営ほ場整備（久美浜町平田）<1,490万円>
- ・小規模土地改良事業を支援<110万円>
- ・土地改良施設（有田池 峰山町内記）改修<1,350万円>
- ・丹後町尾和用水路等改修（防衛施設周辺対策事業）<1億2,791万円>

一部3月補正
【うち850万円】

□ため池ハザードマップの作成【880万円】

- ・蔵の谷池（峰山町新治）
- ・上谷池（峰山町荒山）
- ・シズ池、トビ谷池、トビ谷下池（弥栄町堤） 計5池

□有害鳥獣の捕獲・防除等【1億604万円】

- ・鳥獣被害対策実施隊設置（43名）、シカ捕獲奨励金、有害鳥獣捕獲委託料、サル追払活動の支援 など<8,327万円>
- ・有害鳥獣防除施設費補助（再編交付金基金事業）<1,146万円>
- ・猪・鹿肉処理施設「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」管理運営<1,131万円>

3 【ものづくり】“輝く”、匠の技と資源が集積するまち

～地域産業等の振興を図り“経済の活性化”を促進～

森林環境の整備

□森林環境譲与税基金の積立【2,494万円】

森林環境譲与税を財源とし、市内森林の環境整備の着実な実施に向けて基金へ積立を行う

□豊かな森を育てる事業【1,062万円】

京都府豊かな森を育てる府民税を財源とした交付金を活用し、間伐等の森林整備、木材の利用促進、森林の公益的機能を維持・増進

□松くい虫の防除【889万円】

地上散布及び樹幹注入による防除等を実施

水産物の生産振興、ブランド化

□水産資源の増殖・確保【199万円】

- ・河川種苗放流事業補助金<115万円>
- ・アワビ等種苗放流事業補助金<84万円>

□漁業の担い手の確保・育成【50万円】

京都府海の民学舎の運営経費を負担

□漁業者の経営安定を支援【41万円】

- ・農業近代化資金利子補給金<13万円>
- ・漁業災害復旧資金利子補給金（H29台風21号災害）<28万円>

新 漁港施設機能保全計画の策定【1,200万円】

網野町（遊、磯）、丹後町（袖志、竹野、小間、砂方）、久美浜町（蒲井、旭） 計8漁港

□その他、漁港施設等の環境整備【326万円】

- ・三津漁港臨港道路改修<238万円>
- ・浜詰漁港野積場用地舗装<88万円>

自然や里山の景観を守り、地球に優しい取組

□海岸の良好な景観と環境を保全【3,131万円】

- ・海岸漂着物の回収・処理<2,903万円>
- ・海岸漂着物の発生抑制対策<228万円>
環境保全ワークショップの開催、環境学習、啓発教材等作成

□地球温暖化防止対策【110万円】

- ・環境学習、セミナー、環境フェア等の開催<96万円>
- ・事業所等を対象とした環境マネジメントシステムの導入促進<14万円>

□持続可能な循環型社会を構築【265万円】

- ・低炭素・資源循環促進支援補助金
自給型発電システム（太陽光発電等再生可能エネルギー）
蓄電池システム（再生可能エネルギーと併用）
木質燃料利用システム（薪、ペレットストーブ等）
再資源化システム（バイオ式生ごみ処理機、リサイクラー等）
住宅用太陽光発電と蓄電池システムとの新規同時導入

新 食品ロスの削減【22万円】

食品ロス削減ポップ・ステッカーの作成 など

□自然環境の保全【50万円】

- ・ブナ林保全の環境学習・観察会などの意識啓発事業を実施
- ・不法投棄対策
- ・丹後の豊かな環境づくり推進会議への参画
※2市2町の住民、事業者、行政等で構成

□日本一の砂浜海岸づくりを推進【446万円】

一斉クリーン作成（6月中旬）、海水浴場清掃美化 など

□自然環境を守り次代に継承する取組を支援【60万円】

- ・美しいふるさとづくり推進事業補助金
保全活動（美化・体験・啓発を含む）<50万円>
保護区域における監視指導<10万円>

4 【魅力づくり】“輝く”、豊富な「食材」を活かしたまち

～「食」の魅力～を広く発信、「美食観光」の推進～

《参考》6億 425万円

柱④に記載した取組の合計額

“旬”でもてなす食の観光を推進

□ Rico Labo^{リコ ラボ}の開設を支援【17万円】

市内の料理人や生産者、加工業者などが集い、技術等を学んだり食に携わる関係者間の交流を促進する場として開設

開設場所は、丹後王国レストラン内（年間4回の開設を行政等が支援）

※「Rico」は、スペイン語で「美味しい、豊か」、「Labo」は、スペイン語で「研究所」

□ 京丹後ガストロミカを開催【105万円】

料理人など食に携わる事業者が、調理技術等を学んだり、発表したりする学会を開催 ※開催予定：R2年秋頃

□ たんちよすバルの開催を支援【57万円】

京丹後食材を使った一品料理「たんちよす」を市内料理人が提供する取組を支援 ※開催予定：R2年秋頃

拡 フルーツトレイル事業を継続【150万円】

旬のフルーツを使ったスイーツなどを提供する「フルーツトレイル」に参加する農業者等に対し、設備、装飾等の店舗開設に必要な経費を支援

□ 市内農産物のブランド化を推進（再掲）【558万円】

〔生産強化を支援〕

- ・経営規模拡大を支援
- ・共同利用機械等の導入を支援
- ・永年性作物等の導入を支援

〔流通販売を支援〕

- ・新たな農産物流へのチャレンジを支援
- ・国内外の販路開拓を支援
- ・第三者認証取得を支援

〔旬の食材のブランド化〕

- ・1次産品活用アドバイザーを起用

□ 観光資源、観光情報の発信【423万円】

観光大使による宣伝活動、スマートフォン用観光アプリ等によるPR など

地域総ぐるみの観光地づくり

□ 海の京都DMO京丹後地域本部（市観光公社）の活動支援

○市観光公社が実施する主な事業<4,228万円> 【4,667万円】

- ・WEB・マーケティング事業
- ・観光コンテンツ企画販売事業
- ・海の京都エリア活性化事業（6支部の活動支援） など

○国際交流員（CIR）を1名任用<439万円>

市観光公社が実施するインバウンド事業等を支援

□ 地域おこし企業人交流プログラムを活用【1,000万円】

総務省事業を活用し、大手旅行会社から人材を受入
観光分野の専門知識や経験を生かし、旅行業者、DMO、市観光公社等との連携によるインバウンド対策や着地型旅行商品の開発などを行う

□ 海の京都DMOとの連携【1,552万円】

広域連携によるプロモーション、インバウンド誘客、マーケティングなど、海の京都地域の観光地づくりと地域振興に向けた取組を推進

市観光施設の指定管理者による運営

□ 観光施設指定管理運営事業【9,369万円】

- ・天女の里（峰山町）<963万円>
- ・小町公園（大宮町）<345万円>
- ・浅茂川温泉関連施設（網野町）<1,747万円>
- ・碓高原ステーキハウス（丹後町）<74万円>
- ・宇川温泉よし野の里（丹後町）<960万円>

※改修工事のためR2.9末まで休業予定

- ・丹後温泉はしうど荘（丹後町）<396万円>
- ・丹後半島森林公園関連施設（弥栄町）<3,331万円> ※スキー場は休業中
- ・弥栄あしぎぬ温泉（弥栄町）<731万円>
- ・久美浜豪商「稲葉本家」（久美浜町）<620万円>
- ・かぶと山公園関連施設（久美浜町）<202万円>

4 【魅力づくり】“輝く”、豊富な「食材」を活かしたまち ～「食」の魅力～を広く発信、「美食観光」の推進～

拡 東京2020オリンピック・パラリンピック関連

【1,946万円】

- スペイン・ポルトガルとの交流・事前合宿受入<1,479万円>
 - ・R2.7下旬（約1週間）
 - ・ホストタウン相手国等との交流、事前合宿の受入れ など
- 聖火リレーを実施<416万円>
 - ・実施日：R2年5月26日（火）
 - ・コース：約2.2km
（スタート）浅茂川漁港～（ゴール）八丁浜小浜キャンプ場付近
 - ・会場及びコース設営、警備 など
- パラリンピック採火式<7万円>
 - ・実施日（予定）：R2年8月17日（月）
- パラスポーツ講演会<44万円>



新 (仮称)カヌーセンターを整備

【1億7,162万円】

一部3月補正
【うち1億6,495万円】

- （仮称）カヌーセンターの概要
 - 〔施設整備〕 ※完成予定：R3年3月
 - ・カヌー保管庫
 - ・多目的ルーム
 - ・シャワールーム
 - ・多目的トイレ
 - ・備品収納庫 など
 - 〔設備備品〕
 - カヌー用ラックの購入 など



インバウンド誘客、体験滞在型観光を推進

- 国際交流員(CIR)を任用(再掲)【439万円】
 - 市観光公社が実施するインバウンド事業等を支援するため、1名任用
- 温泉施設などの観光インフラ整備を支援【3,000万円】
 - ・夕日ヶ浦温泉の温泉管改修<500万円>
 - ・丹後温泉組合の温泉貯湯槽改修<75万円>
 - ・その他の観光インフラ整備等促進事業補助金<2,425万円>
- 新 宇川温泉「よし野の里」大規模改修【1億5,833万円】
 - 浴室改修、サウナ床板取替、ポンプ室移設 など
 - ※改修工事期間は休業。R2年10月から再開予定
- ジオパークの地質遺産の保護保全と活用【911万円】
 - 山陰海岸ジオパークロングトレイル事業、ガイド養成 など
- 日本一の砂浜海岸づくりを推進(再掲)【446万円】
 - 一斉クリーン作成（6月中旬）、海水浴場清掃美化業務 など
- 海水浴場の安心・安全な環境づくり【1,069万円】
 - 海水浴場の連絡員配置等を支援

拡 ワールドマスターズゲームズ2021関西の推進【778万円】

- ・プレ大会の開催
 - 開催予定：R2年5月16日（土）～17日（日）
- ・競技審判・監視用双胴船（カタマラン）の船台購入
- ・WMG関西京都府実行委員会への負担金
- 観光活性化に寄与する団体等を支援【180万円】
 - 宿泊客等を伴うイベント等を開催する団体等を支援
- スポーツ観光の推進【763万円】
 - ・“第20回記念”丹後100kmウルトラマラソンの開催支援 <222万円>
 - ・ドラゴンカヌー選手権大会の開催支援<202万円>
 - ・丹後大学駅伝の開催支援<94万円>
 - ・あみの八丁浜ロードレース大会の開催支援<105万円>
 - ・久美浜湾一周駅伝競走大会の開催<140万円>
 - ・丹後半島ラリーの開催支援
 - ・TANTANロングライドの開催支援

5 【基盤づくり】“輝く”、未来に、社会の基盤を築くまち

～ハード・ソフト両面にわたる社会基盤整備の促進～

《参考》25億1,824万円

柱⑤に記載した取組の合計額

安全・安心なまちづくり～国土強靱化緊急対策等～

新 京都府総合防災訓練を実施【60万円】

R2年8月30日（日）峰山中学校を会場に実施予定

新 救急安心センター（#7119）を開設【59万円】

府と市町村が連携して、医師や看護師等専門家による緊急度に応じたアドバイスを受けられる電話相談窓口サービスを開設

※開設予定：R2年10月

新 防災マップを作成【661万円】

京都府の洪水浸水想定区域図に基づき作成

□ 河川環境を保全、浸水被害等を防止【7,963万円】

河川等修繕4か所、河川浚渫等5か所、草刈等環境整備など

拡 社会資本整備総合交付金事業【2億6,791万円】

道路新設改良：5路線、橋梁点検：200橋
橋梁修繕・改築11橋

一部3月補正
【うち1億1,200万円】

拡 内水による浸水被害を未然に防止【1億191万円】

- 小栓川雨水ポンプ場建設工事<5,900万円>※R2年6月竣工予定
- 小栓川幹線管渠工事等<4291万円>

□ 急傾斜地の崩壊を未然に防止【2,420万円】

3月補正

京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担
丹後町平地区（H27～R3年度）、網野町小浜地区（H28～R4年度）
大宮町谷内地区（R元～）

□ 万一の災害に備え、備蓄資材等を整備【626万円】

- 災害用備蓄資材の整備<485万円>
乳児用粉ミルク、アルファ米、段ボールベッド、避難所用個室テント、
停電時対策用備品（LPガス発電機、車載インバータ） など
- 自主防災組織を支援<141万円>

拡 防災行政無線の設備更新【1億1,657万円】

確実な情報伝達手段を維持・確保するため多重無線装置及び自動発動型発電機を更新

□ 高齢者安全運転支援装置の取付支援【90万円】

75歳以上の方のペダル踏み間違い時加速抑制装置の購入を支援

山陰近畿自動車道の早期完成へ

□ 山陰近畿自動車道早期実現促進大会を開催【38万円】

峰山網野間の早期事業化を要望

□ 山陰近畿自動車道の

早期実現に向けた地籍調査を実施【1億659万円】

網野町新庄から網野町木津までのエリアの測量等を実施

社会・生活インフラ等の整備

新 ケーブルテレビ放送設備の更新【1億5,000万円】

安定してテレビ受信ができるように、受信点設備等を更新

新 し尿処理施設整備等の検討・基本構想の策定【339万円】

□ 新たな最終処分場の整備へ向けた準備【3,171万円】

R7年度の供用開始に向け、測量業務等を行う

□ 地域協働型小規模公共事業を実施【5,180万円】

地区要望のうち市道や河川補修等の小規模な公共事業を実施

□ 道路情報通報システム「パ撮ロール」を運用【53万円】

スマートフォン用アプリを運用し、市道の損傷などに速やかに対応

□ 市道の維持、改良整備【1億9,717万円】

□ 鶴川（大宮町周枳）、尺田川（網野町三津）の改修【5,800万円】

□ 除雪対策（除雪経費・除雪機購入等）【2億7,509万円】

□ ソフト面での社会基盤の整備【1,918万円】

- 外国人相談支援（再掲）<76万円>
- 外国人支援サポーターを養成（再掲）<12万円>
- 国際交流協会の活動を支援（再掲）<349万円>
- 多文化共生研修会の開催<13万円>
- 国際交流員を3名任用（国際交流・観光・教育の分野で各1名）<1,468万円>

5 【基盤づくり】“輝く”、未来に、社会の基盤を築くまち

～ハード・ソフト両面にわたる社会基盤整備の促進～

公共交通の維持・確保

- **地方バス路線の運行を支援**【1億3,476万円】
 - ・自主運行路線の維持に対し支援<3,061万円>
 - ・丹後海陸交通㈱のバス路線の維持に対し支援<1億415万円>
- **市営バス運行による生活交通の維持・確保**【1,411万円】
- **京都丹後鉄道の運行を支援**【1億1,142万円】
高齢者片道200円レール事業、北近畿外沿線鉄道支援費基盤管理補助金など
- **鉄道事業の安全確保**【8,771万円】
京都丹後鉄道が行う線路や信号設備等の整備を支援（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金）
- **高齢者の公共交通の利用促進**【280万円】
運転免許証の自主返納者に対し、バス・鉄道の回数券を支給

一部3月補正
【うち4,866万円】

都市空間の創出

- **都市計画区域用途地域の指定業務を実施(再掲)**【200万円】
京都丹後市都市計画マスタープランに基づき、用途地域の都市計画素案を作成
- **安全でうるおいのある住環境の整備**【5,582万円】
 - 新 市営住宅御陵団地改善工事<4,732万円>
 - ・市営住宅成願寺南団地外壁改修<850万円>
- **緊急老朽化空家等除却費用の支援等**【201万円】
 - ・緊急老朽化空家等除却費補助金<100万円>
H30～R2年度までの3か年事業、補助上限は20万円
 - ・所有者不存在の空家の流通促進<101万円>
相続財産管理人制度の活用
- **住宅・建築物の耐震改修を支援**【628万円】
 - ・木造住宅耐震診断、耐震改修を支援<598万円>
 - ・耐震シェルター設置を支援<30万円>

行財政の運営

- **市長・市議会議員一般選挙を執行予定**【7,337万円】
選挙期日：R2年4月26日予定
- 新 **RPA導入実証**【127万円】
職員の業務負担軽減や業務効率化を図るため、RPAソフトウェアを導入し実証を行う
※RPAとは、Robotic Process Automation (ロボティック プロセス オートメーション) の略で、これまで人が行ってきた業務の自動化や効率化を図るもの。
- 新 **出退勤管理システムを導入**【319万円】
職員の出退勤、休暇管理等の手続き等を電子管理することで、業務の効率化や勤務状況の把握・管理を徹底
- 新 **職員の派遣研修**【236万円】
 - ・中小企業庁経営支援部小規模企業振興課 1人(予定：2年間)
 - ・京都府総務部政策法務課 1人(予定：1年間)
- 新 **議場のマイク設備等を更新(設計のみ)**【154万円】
- **網野庁舎解体・撤去**(R元～R2年度継続事業)【1億520万円】
- 新 **旧新山保育所(峰山放課後児童クラブ)の解体(再掲)**【9,180万円】
- **ふるさと応援基金への積立**【3億3万円】
ふるさと応援寄附金を基金に積み立て、ふるさとづくり推進のための取組に活用
- 新 **国勢調査(基準日：R2年10月1日)**【2,355万円】
開始から100年目を迎える令和最初の国勢調査

一般会計予算の主な建設事業（再掲含む）

《参考》39億 310万円

本ページの予算額は、性質別で「普通建設事業」に区分される数値を記載

「子育て・教育」分野

17億 104万円

- 学校情報通信ネットワーク環境整備【5億100万円(3月補正分)】
- 峰山途中ヶ丘公園“第3種公認陸上競技場”整備【3億8,525万円】
- （仮称）カヌーセンター整備【1億6,470万円(3月補正分)】
- 丹後地域公民館耐震等改修【3億5,784万円】
- 丹後図書室移転改修（丹後庁舎内）【6,138万円】
- 丹後古代の里資料館空調設備等更新【4,840万円】
- 小学校のトイレ洋式化【8,380万円】 3校の児童用トイレを洋式化
- 網野南小、かぶと山小学校エアコン改修【1,610万円】
- 網野中学校下水道接続等【1,500万円】
- 大宮中学校放送設備改修【420万円】
- 久美浜中学校スクールバス購入【1,900万円】
- その他、小・中学校施設改修事業【1,000万円】
- 島津保育所下水道接続及び浄化槽解体【1,060万円】
- 丹後放課後児童クラブの整備（丹後地域公民館内）【676万円】
- 放課後児童クラブ送迎車両購入（峰山、網野北、弥栄）【1,300万円】
- その他、保育施設改修【401万円】

「観光・産業」分野

4億8,932万円

- パイプハウス等整備事業補助金（24棟）【3,026万円】
- 「京の米」生産イノベーション事業補助金【2,197万円】
- 丹後町上宇川地区ほ場整備（H29～R4）【2,625万円】
- 久美浜町女布地区ほ場整備（H26～R3）【525万円+875万円(3月補正分)】
- 久美浜町平田地区ほ場整備（R2～R7）【525万円】
- 小規模農業基盤整備（竹野・沖田農業用水管移設）【3,250万円】
- 宇川地区農業用施設（尾和用水路）改修【1億2,493万円】
- 袖志・尾和有害鳥獣防除施設費補助金【1,146万円】
- 豊かな森を育てる事業（間伐搬出等）補助金【837万円】
- 製造・加工業経営革新等推進事業補助金【1,500万円】
- 観光インフラ整備等促進事業補助金【3,000万円】
- 宇川温泉よし野の里大規模改修【1億5,833万円】
- アグリセンター大宮舞台緞帳改修【1,100万円】

公共施設の除却

1億9,680万円

- 網野庁舎解体・撤去【1億520万円】
- 旧新山保育所（峰山放課後児童クラブ）の解体【9,160万円】

「生活環境」分野

15億1,594万円

- 移住促進・空家改修支援事業費補助金【1,320万円】
- 尾和区集会施設整備事業補助金【3,429万円】
- 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金【3,905万円+4,866万円(3月補正分)】
- ブロードバンドネットワークの整備【1億643万円】
- ケーブルテレビ放送設備の更新【1億5,000万円】
- 峰山クリーンセンターの整備【3,719万円】
- 峰山・大宮・網野・久美浜最終処分場の維持【2,944万円】
- 新たな最終処分場整備に向けた測量等【2,930万円】
- 網野・竹野川・久美浜衛生センターの維持【6,323万円】
- 低炭素・資源循環促進支援補助金【265万円】
- 浄化槽設置整備事業費補助金【438万円】
- 水洗化推進支援事業費補助金【840万円】
- 市営住宅改修【5,516万円】
御陵団地（網野町）改善工事、成願寺南団地（丹後町）外壁改修工事
- 住宅・建築物耐震改修補助金【550万円】
- 交通安全施設（区画線等）設置【740万円】
- 市道の維持補修（8路線）【5,320万円】
- 市道の新設改良（7路線）【8,920万円】
- 社会資本整備総合交付金事業【1億5,240万円+1億1,200万円(3月補正分)】
道路新設改良：5路線、橋梁点検：200橋、橋梁修繕・改築：11橋
- 除雪機械等整備事業【2,900万円】
- 急傾斜地崩壊対策（丹後町平、網野町小浜、大宮町谷内）【2,420万円】
- 丹後町間人（小泊）法面対策【2,500万円】
- 河川の維持補修（5河川）、河川の改修（2河川）【8,200万円】
- 内水処理対策事業【4,200万円+5,900万円(3月補正分)】
- 防災行政無線多重無線装置更新【1億1,657万円】
- 高規格救急車（1台）購入【3,500万円】
- 消防団車両を更新【3,700万円】
 - ・多機能型小型動力ポンプ付積載車1台：峰山第3分団第2部（二箇）
 - ・多機能型消防ポンプ自動車1台：網野第3分団第1部（福田）
- 消防車庫の整備【2,509万円】
網野町北大路消防車庫、大宮町河辺消防車庫（設計のみ）



特別会計・企業会計の繰出金等の状況

性質	繰出金等名称	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
繰出金	国民健康保険事業	4億4,857万円	4億2,965万円	1,892万円	4.4%
	国民健康保険直営診療所事業	9,726万円	9,001万円	725万円	8.1%
	後期高齢者医療事業(※1)	10億3,456万円	10億1,971万円	1,485万円	1.5%
	介護保険事業	10億 980万円	8億9,121万円	1億1,859万円	13.3%
	介護サービス事業	4,000万円	4,000万円	0万円	0.0%
	下水道関連(※2)		11億8,600万円	△11億8,600万円	皆減
	集落排水事業		2億3,600万円	△2億3,600万円	皆減
	公共下水道事業		8億2,800万円	△8億2,800万円	皆減
	浄化槽整備事業		1億2,200万円	△1億2,200万円	皆減
	小計	26億3,019万円	36億5,658万円	△10億2,639万円	△28.1%
補助費等	水道事業会計	1億1,897万円	3億2,088万円	△2億 191万円	△62.9%
	下水道事業会計	11億5,540万円		11億5,540万円	皆増
	病院事業会計	7億5,284万円	9億9,733万円	△2億4,449万円	△24.5%
	小計	20億2,721万円	13億1,821万円	7億 900万円	53.8%
出資	水道事業会計出資金	4億4,012万円	8,000万円	3億6,012万円	450.2%
	下水道事業会計出資金	1億2,460万円		1億2,460万円	皆増
	病院事業会計出資金	3億1,516万円		3億1,516万円	皆増
	小計	8億7,988万円	8,000万円	7億9,988万円	999.9%
	合計	55億3,728万円	50億5,479万円	4億8,249万円	9.5%

(※1) 後期高齢者医療連合負担金(医療分)を含む (※2) 令和2年度から、集落排水事業、公共下水道事業、浄化槽整備事業の3特別会計を統合し、下水道事業会計(企業会計)へ移行



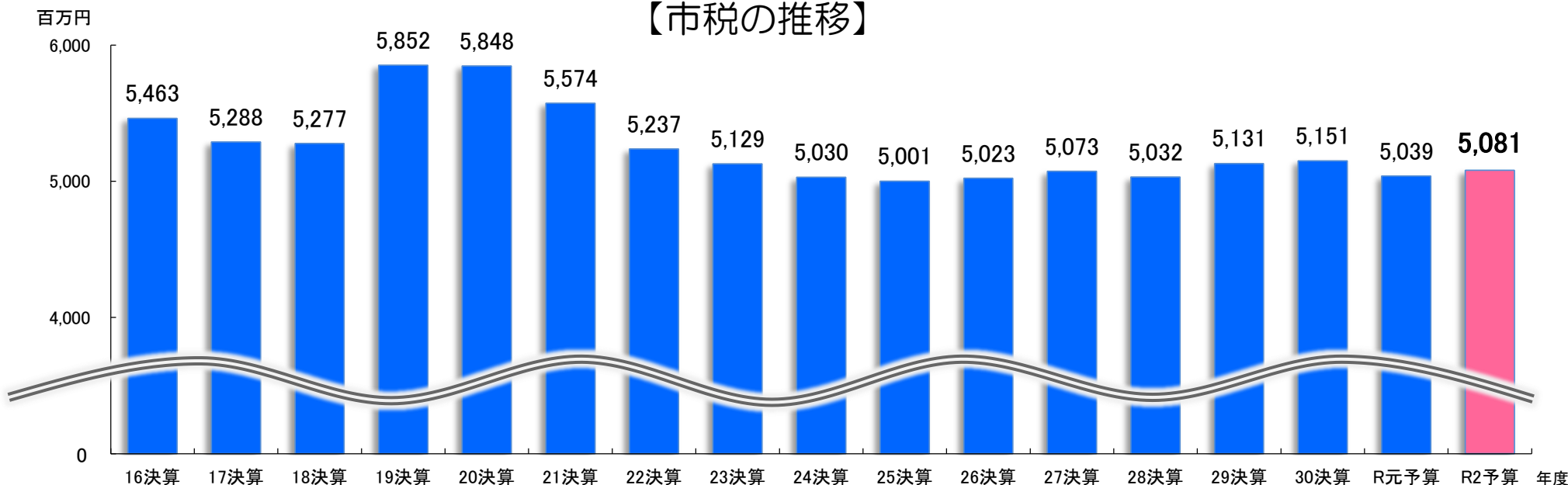
市税の状況

令和2年度 市税総額 50億8,097万円 (前年度: 50億3,923万円)
対前年度 4,174万円 0.8%の増

※依然厳しい状況ではあるが、市民税、固定資産税は増収見込み

・個人市民税	19億4,240万円	(R元 19億 982万円)	対前年度 3,258万円 (1.7%)
・法人市民税	2億4,144万円	(R元 2億4,116万円)	対前年度 28万円 (0.1%)
・固定資産税	23億4,052万円	(R元 23億3,585万円)	対前年度 467万円 (0.2%)
・市たばこ税	2億9,031万円	(R元 2億9,086万円)	対前年度 △55万円 (△0.2%)

【市税の推移】





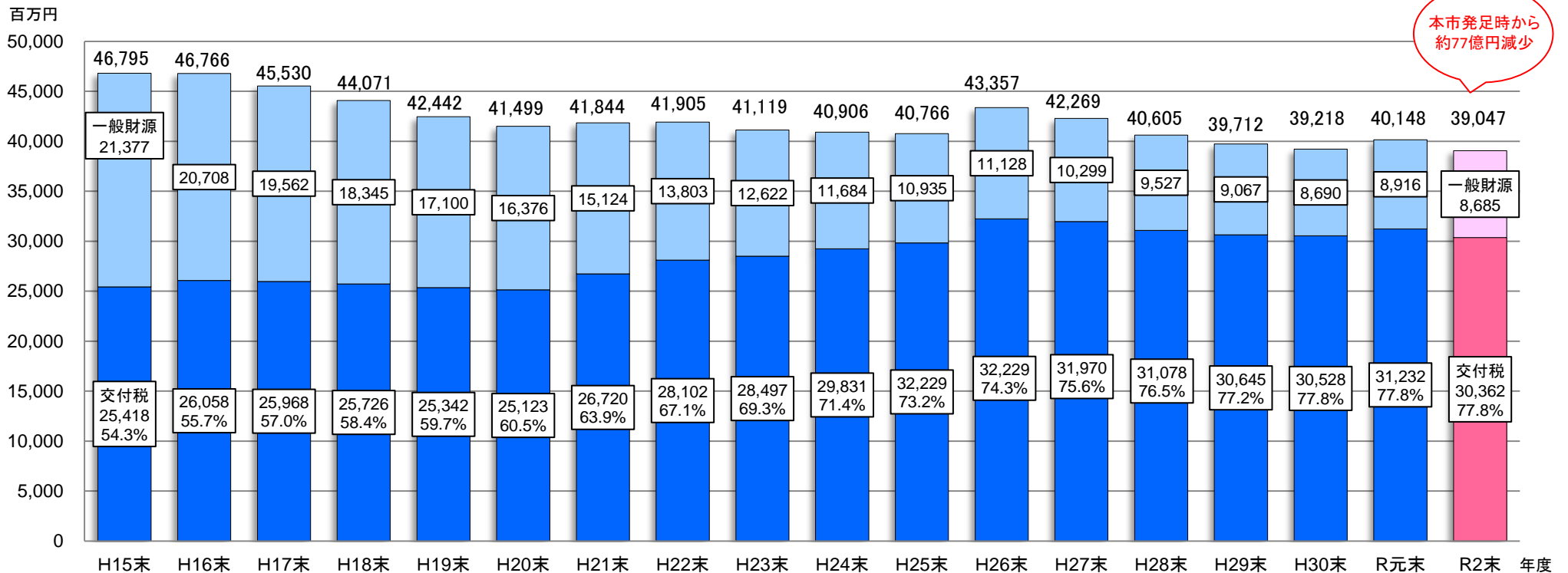
市債現在高の状況

令和2年度末市債現在高見込み

390億4,724万円 (対令和元年度末見込: Δ11億 57万円 2.7%の減)

令和2年度は、骨格型予算の編成でもあるが、峰山途中ヶ丘公園第3種公認陸上競技場整備事業をはじめとする大型の建設事業等があるものの、平成29年度からの災害復旧事業の減少などもあり、市債現在高は減少。

しかしながら、令和3年度以降も大型事業が控える中、中長期的に市債現在高に留意していく必要があるとともに、引き続き交付税措置がある有利な市債の借り入れに努め、市の実質的な負担分の軽減に努めていく必要がある。



本市発足時から約77億円減少

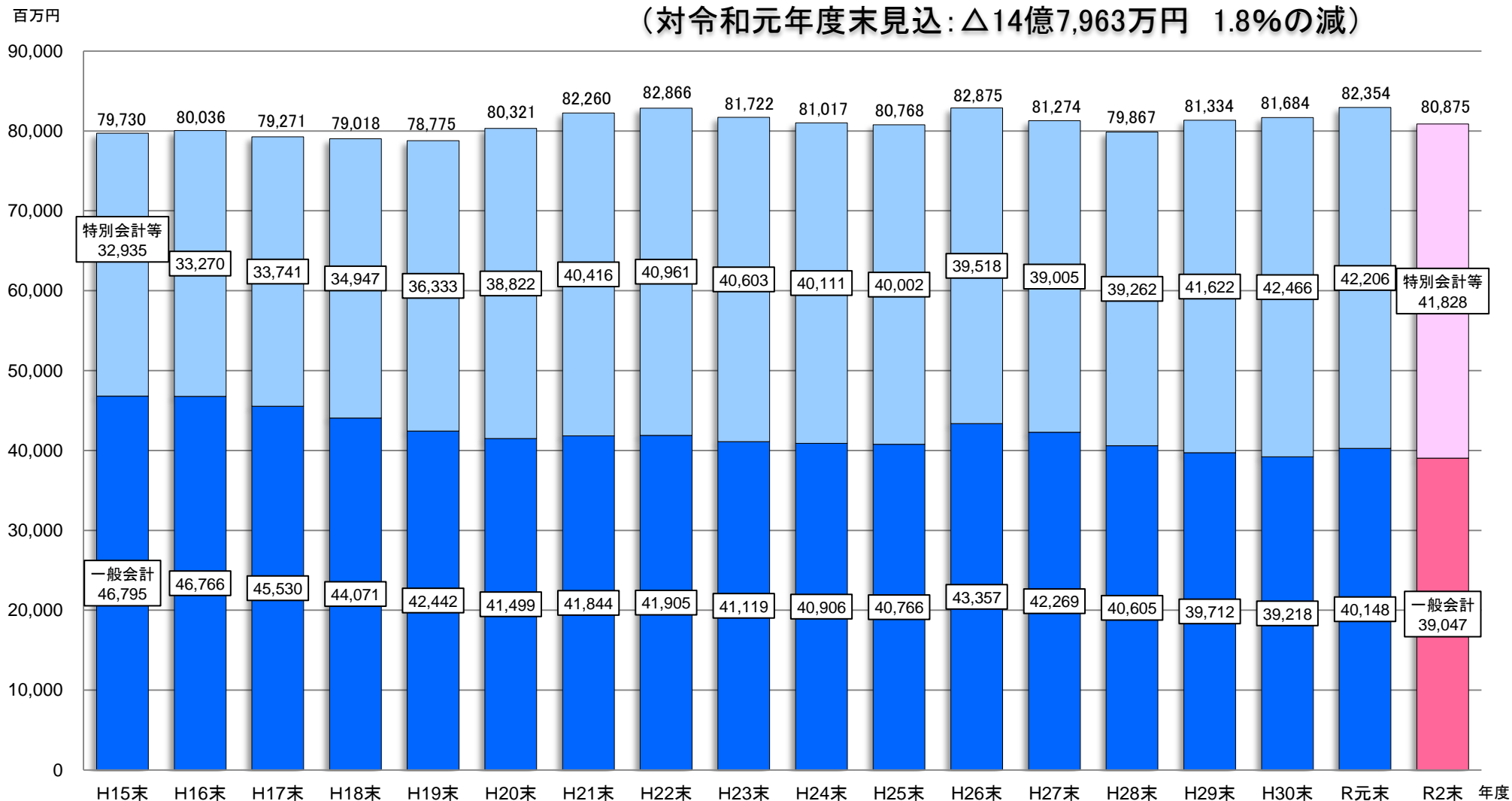
※交付税は、各区分の地方債残高に対する地方交付税算入率を乗じて理論的に算出したもの。H30年度以前の現在高は決算額、R元・R2は見込額



〈参考〉全会計市債現在高の推移

令和2年度末市債現在高見込み 808億7,463万円

(対令和元年度末見込: Δ 14億7,963万円 1.8%の減)



※H30年度以前の現在高は決算額、R元・R2年度は見込額



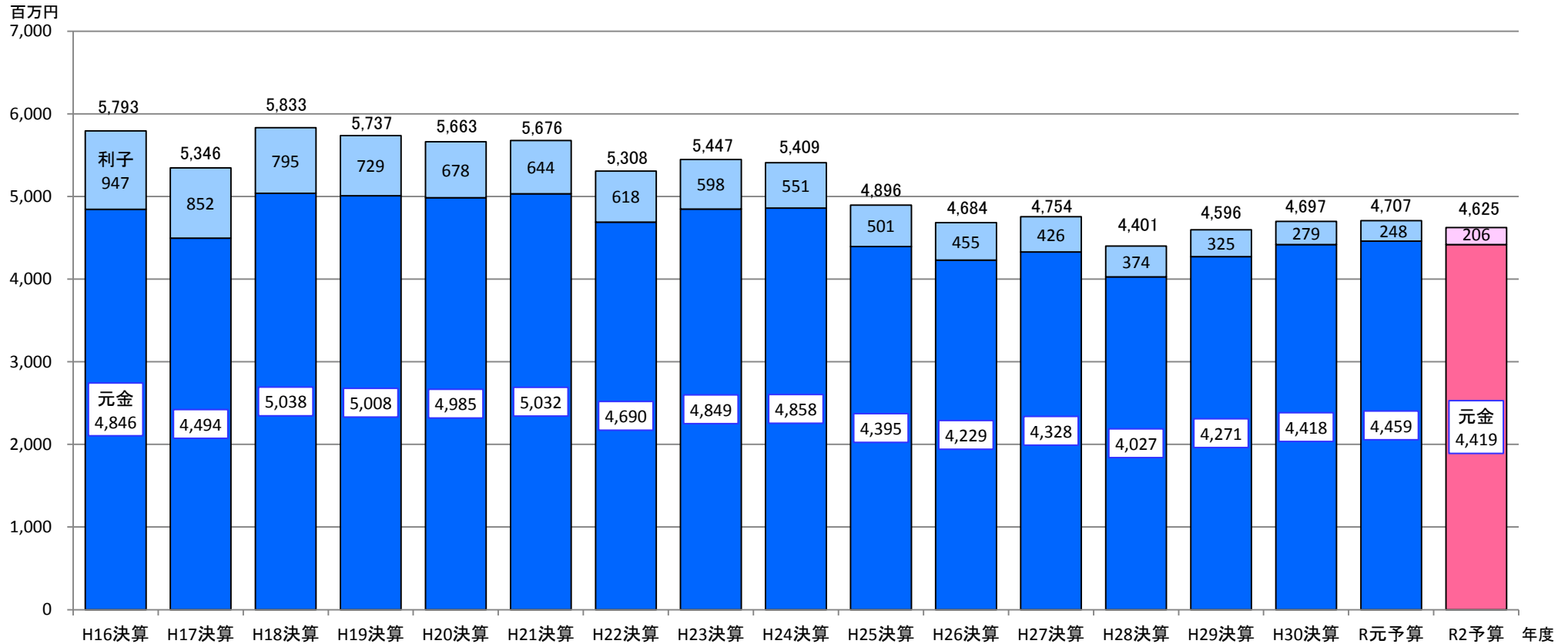
公債費の状況

令和2年度 公債費総額 46億2,461万円

⇒市債返済に係る公債費は、中期的に暫次減少

合併以降、公債費の抑制に努めているものの実施すべき課題は多く、合併特例債については2回の法改正により、活用期限が当初の平成26年度から10年延長となり令和6年度まで活用となったほか、人口減少により平成29年4月から市全域が過疎地域となり、有利な地方債を活用できる環境となっている。

今後も、大型事業が控える中、将来を見据えながら、有利な地方債を活用し、本市の将来発展に向けた課題に取り組む必要がある。



※H30年度以前の現在高は決算額、R元・R2年度は予算額



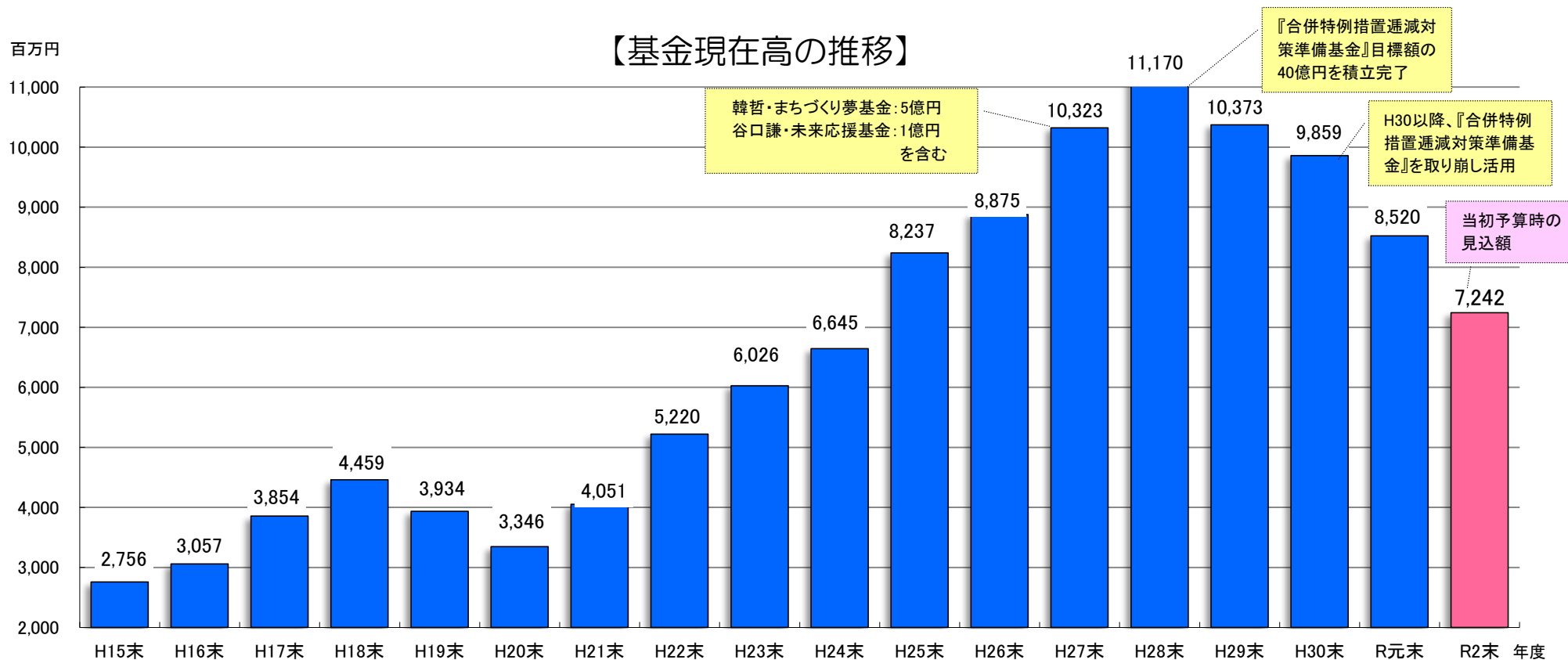
基金の状況

令和2年度末基金現在高見込み(一般会計)

72億4,237万円(対令和元年度末見込み:△12億7,726万円 15.0%の減)

これまで「合併特例措置逡減対策準備基金」や“ふるさと応援寄附金”を財源とした「ふるさと応援基金」の積立て等により基金現在高は増加傾向にあったが、平成29年度には台風被害等で多額の財政調整基金を取り崩す必要が生じたほか、平成30年度からは合併特例措置逡減対策準備基金を活用していることから、現在高は減少傾向にある。

こうした中、令和2年度でも、合併特例措置逡減対策準備基金と財政調整基金からそれぞれ5億円を取り崩し、財源確保している。



※H30年度以前の現在高は決算額、R元・R2年度は見込額